

平成27年度
津市社会福祉協議会 事業報告書

社会福祉法人 津市社会福祉協議会

目 次

はじめに	-----	1
重点目標	-----	1
事業報告		
I 社会福祉事業		
【地域福祉事業】		
1 法人運営事業	-----	4
2 広報・啓発事業	-----	8
3 地域福祉推進事業	-----	9
4 介護予防事業	-----	18
5 共同募金配分金事業	-----	19
6 日常生活自立支援事業	-----	19
7 成年後見サポートセンター事業	-----	21
8 ボランティアセンター事業	-----	22
9 生活福祉資金貸付事業	-----	28
10 福祉基金・資金事業	-----	28
【介護サービス事業】		
1 訪問介護事業	-----	29
2 通所介護事業	-----	30
3 障がい者相談支援事業	-----	30
4 障がい者居宅介護等事業	-----	30

II 公益事業

【地域福祉事業】

- 1 生活支援ハウス運営事業 ----- 3 1
- 2 生活困窮者自立相談支援事業 ----- 3 1
- 3 生活困窮者家計相談支援事業 ----- 3 2
- 4 生活困窮者支援緊急食糧提供等事業 ----- 3 2

【介護サービス事業】

- 1 居宅介護支援事業 ----- 3 2
- 2 地域包括支援センター事業 ----- 3 3
- 3 要介護認定調査事業 ----- 3 4

III 収益事業

【収益事業】

- 1 物品販売事業 ----- 3 4

巻末資料----- 3 5

はじめに

私たちが暮らす地域社会では、少子高齢化や核家族化による世帯構造の変化、地域コミュニティの希薄化、価値観の多様化等を背景に福祉へのニーズが高まる中、生活困窮者等の支援、ひきこもりや虐待といった新たな社会的課題への早急な対応が求められています。

このような状況の中、本会では、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすことのできる福祉のまちづくりの実現に向けて、「第2次津市地域福祉活動計画」や「津市社会福祉協議会発展・強化計画」に基づき、地域支援や個別支援に取り組み、地域福祉の充実に努めました。

特に、生活困窮者への「自立相談支援事業」をはじめ、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活ができるよう支援する「日常生活自立支援事業」等、相談支援体制の充実を図るとともに、（仮称）津市成年後見サポートセンターの開設に向けた準備を積極的に進めました。

更に、介護予防・日常生活支援総合事業へのスムーズな移行に向けて、関係機関と協議・検討を重ね、制度改革への対応に努めました。

また、介護保険事業の運営等について、経営の安定化・効率化、サービスの向上に努めるとともに、法人全体の組織の再構築と機能強化を見据えた事業所の統廃合を実施しました。

以下、平成27年度の事業計画に掲げた重点目標の推進状況や事業区分ごとの取り組みについて報告します。

【重点目標】

1 経営体制の強化

(1) 人材の育成

職員研修年間計画に基づき、集合研修や専門研修等の各種研修を実施しました。

また、人事考課制度やコーチングに関する研修も行い、個々のスキルアップに繋がるよう取り組みました。

(2) 新会計基準制度での円滑な会計処理の実施

公共性の高い社会福祉法人として、透明性の確保と効果的・効率的な経営を目指すため、「新会計基準」に関する研修を受講する等、知識の修得を図り、会計実務の向上に努めました。

(3) 広報・啓発事業の推進

ホームページのリニューアルを行い、高齢者や障がい者にも見やすい工夫を取り入れる等、広報・啓発に努めました。ブログでは、本会事業の紹介や地域の福祉活動に関する情報を上げ、地域の最新情報の発信に努めました。

(4) 長期性のある自主財源の確保

自主財源の確保を図るため、会員規程の改正（賛助会員（団体・法人）の設定）を行うとともに、各種団体にも積極的に加入促進を図った結果、対前年度比約34.4%増の賛同を得られ、一定の成果を挙げることができました。

2 小地域福祉活動の推進

(1) ふれあい・いきいきサロン事業

ふれあい・いきいきサロン事業を支援し、「地域の居場所づくり」に取り組み、地域住民の交流や絆づくり、見守り活動へつなげる「地域の絆づくり」の推進に努めました。

(2) コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の養成・配置

社協職員の一人ひとりがCSWであるとの意識のもと、更なる地域福祉の専門性を高め、地域で活躍できるよう、地域福祉実践力向上研修（全5回）やスキルアップ研修（全3回）等の研修を積極的に受講しました。

3 地域福祉教育の推進

(1) 福祉体験教室の推進及びプログラム提案

子どもたちが成長していく過程で、学校と連携し、地域における「支えあい」を学ぶ機会を設けたり、地域住民の福祉意識を高めるためプログラムを提案し、福祉出前講座を実施しました。

(2) 「共育」理念の推進

共に育つ「共育」をテーマに、地域住民が地域の課題について学び、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを目指した活動を、一体となって取り組める体制の構築に努めました。

4 災害対策センター運営の基盤整備

(1) 防災啓発及び災害時の支援体制の充実

災害ボランティアに関する記事を社協だよりに掲載し、被災地での活動等を紹介するとともに、市内の大規模商業施設にて、災害ボランティアに関する街頭啓発も行い、広く啓発を図りました。

津市総合防災訓練では、災害ボランティアセンターの設置に関する実践的な訓練を行い、職員間で様々な課題で共通認識を図り、職員の意識向上に努めました。

また、非常時に災害ボランティアセンターの迅速な設置・運営ができるよう、津市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの作成に取り組みました。

(2) 事業継続の優先度の確認及び職員の参集状況の把握（事業継続計画：BCP）

社協が災害時に求められる機能を果たすため、事業継続計画（BCP）の重要性を全職員が認識することを目的に、全体研修及び職場研修を開催し、事業継続の優先度や職員の参集状況に関する内容について理解を深めました。

(3) 災害ボランティアの育成

市民や関係者を対象に、災害ボランティア養成研修会を開催し、防災意識の向上に繋げるとともに、災害ボランティアの育成に努めました。

災害時に、ボランティアへの速やかな情報提供を行うため、災害ボランティアを事前登録する仕組みを作り、運用を開始しました。

5 地域における相談体制の充実

(1) 生活困窮者自立相談支援事業【新規事業】

多様で複合的な課題を抱えている生活困窮者等からの相談に応じ、各々が抱える課題を包括的に把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認し、相談員が寄り添いながら、関係機関等と連携して、問題解決に向けた支援に努めました。

(2) 生活困窮者家計相談支援事業【新規事業】

家計に課題を抱えている生活困窮者等からの相談に応じ、必要な情報や専門的な助言・指導等を行い、早期に家計が再生されるよう支援しました。

(3) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の相談支援体制の見直し

平成26年度以降、相談支援数が増加傾向であるため、地域福祉課及び久居支部に常勤の生活支援員を各1名配置し、日常的な金銭管理支援に対応しました。専門員が本来業務である新規相談等に充てる時間が増えた分、契約者数の増加につながりました。

(4) 成年後見制度利用等へのサポート機能の充実

判断能力が不十分な方々に成年後見制度利用へのサポート等を行う「(仮称)津市成年後見サポートセンター」の平成28年度開設に向けて、法律、医療、福祉関係者等で構成する事業検討委員会を開催し、計画的に開設準備に取り組みました。

6 地域生活を支える福祉サービスの充実

(1) 介護保険制度改正に向けての取り組み

制度改正に的確に対応するため、外部研修等、各種研修会への参加や職場内研修を積極的に実施し、職員の資質向上を図るとともに、サービスの質の向上に努めました。

(2) 事業所再編に伴う介護サービス事業の効率化及び健全経営

訪問介護事業所、居宅介護支援事業所の統廃合を行いました。サービスの質の低下を招くことなく、支援を継続することができました。

訪問介護事業において、民間事業所の参入の少ない美杉地域への支援を強化するため人員体制の整備を図り、利用者のニーズに対応することができました。居宅介護支援事業においては、緊急対応や処遇困難ケースに対応すべく、サービス事業所や地域包括支援センター等、関係機関との連携強化に努めました。

(3) 地域包括支援センターの総合相談の充実

センターの人員体制の整備に加え、地域ケア会議の開催等により、関係機関・専門職種との連携強化を図ることで、困難ケースの増加や相談の多様化に対応することができました。

(4) 障がい者特定相談事業所の総合相談の充実

計画相談ワーキング会議や研修会へ積極的に参加し、事業に関する情報収集や情報交換を行い、知識や相談援助技術の向上に努め、相談支援事業の充実を図りました。

事業報告

I 社会福祉事業（事業区分）

【地域福祉事業】（拠点区分）

1 法人運営事業（経営体制の強化）

（1）理事会、評議員会等の開催

ア 理事会の開催

会議名	開催日	開催場所
第1回理事会	5月25日（月）	津市サンヒルズ安濃
第2回理事会	6月17日（水）	津センターパレス
第3回理事会	9月18日（金）	津市美里社会福祉センター
第4回理事会	12月15日（火）	津市美里社会福祉センター
第5回理事会	1月16日（土）	津リージョンプラザ
第6回理事会	3月22日（火）	津市サンヒルズ安濃

※各理事会の協議事項及び出席者数は、巻末資料のとおりです。（P 35～36）

イ 評議員会の開催

会議名	開催日	開催場所
第1回評議員会	5月27日（水）	津市芸濃庁舎
第2回評議員会	9月24日（木）	津市久居総合福祉会館
第3回評議員会	12月17日（木）	津市美里社会福祉センター
第4回評議員会	3月24日（木）	津市芸濃庁舎

※各評議員会の協議事項及び出席者数は、巻末資料のとおりです。（P 37～38）

ウ 監査会、内部監査の開催

会議名	開催日	監査事項等
内部監査	5月1日（金）	・平成26年度事業及び会計決算の監査について
監査会	5月11日（月）	・平成26年度事業及び会計決算の監査について

エ 正副会長会議の開催

会議名	開催日	協議事項等
第1回正副会長会議	8月25日（火）	・アイデア提案書について
第2回正副会長会議	2月9日（火）	・今後の社協運営について

オ 法人運営部会及び福祉事業部会の開催

会議名	開催日	協議事項等
第1回 法人運営部会	11月12日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員の処遇改善及び介護サービス事業の決算見込みについて ・役員等の報酬及び費用弁償について ・基金助成事業について
第1回 福祉事業部会	2月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業について ・成年後見サポートセンター事業について ・介護保険事業について
第2回 法人運営部会	2月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員の処遇改善について ・役員等の報酬及び費用弁償について ・介護保険サービス事業について

カ 理事研修会の開催

研修名	開催日	研修内容等
第1回 理事研修会	5月18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回発展・強化計画推進委員会の報告について ・第1回第2次地域福祉活動計画推進委員会の報告について ・平成26年度社会福祉法人指導監査の報告について ・第1回理事会の提出議案について ・指定管理者制度について
第2回 理事研修会	6月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・社協会費について ・地域福祉資金について ・社会福祉法等の一部を改正する法律案の概要について
第3回 理事研修会	12月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人運営部会の報告について ・第4回理事会の提出議案について
第4回 理事研修会	3月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回福祉事業部会の報告について ・第2回法人運営部会の報告について ・第6回理事会の提出議案について

(2)【重点】人材育成及び研修

職員の資質向上と研修

正規職員、嘱託職員、任期付職員、嘱託員及び臨時職員・パートタイム職員等（一部研修を受講）を対象に、階層別研修、集合研修、専門研修、職場研修等を開催し、福祉専門職としての資質向上に努めました。

また、三重県社会福祉協議会等の関係機関が実施する各種専門研修を受講し、専門職としてのスキルアップを図りました。

ア 階層別研修

研修名	開催日	研修内容等
新任職員等研修	4月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・就業心得、組織体制等について ・地域福祉事業について ・介護保険サービス事業について 内部講師：本部各課職員 本部（出席者：6名）
	4月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・支部訪問（久居・河芸・芸濃・美里・安濃・香良洲・一志・白山・美杉） （出席者：6名）
	4月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・会計の概要と予算管理について 内部講師：総務課職員 本部（出席者：6名） <ul style="list-style-type: none"> ・新入職員基礎研修（主催：百五経済研究所） 三重教育文化会館（出席者：6名）
	9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・実務研修（各自2回）
一般職員研修 A	9月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員としての基本姿勢について ・ロールプレイング、バズセッション 内部講師：総務課職員 津市久居総合福祉会館（出席者：20名）
一般職員研修 B	11月18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの向上 講師：(有) エム・アール・シー取締役 社員教育講師 井ノ口 美津子 氏 津市芸濃庁舎（出席者：19名）
中堅職員研修	11月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・コーチングの技術 講師：(有) エム・アール・シー取締役 社員教育講師 井ノ口 美津子 氏 津市芸濃庁舎（出席者：27名）
管理職員研修	2月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生安全管理体制について 講師：社会保険労務士 浅野 和可 氏 津市美里社会福祉センター（出席者：14名）

イ 集合研修、専門研修、職場研修

研修名	開催日	研修内容等
集合研修	8月5日(水) 8月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーハラスメント防止について 講師：フレンテみえ 服部 亜龍 氏 津市美里社会福祉センター 三重総合文化センター（出席者：196名）

専門研修	7月25日(土)	・面接技術研修会 講師：日本福祉大学 中央福祉専門学校 学校長 長岩 嘉文 氏 津市芸濃保健福祉センター(出席者：75名)
	7月29日(水)	・人事考課の基本と実践 講師：新田社会保険労務士事務所 新田 記久 氏 津市美里社会福祉センター(出席者：33名)
	11月14日(月) ～15日(火)	・平成28年度東海北陸ブロック市区町村社協職員 研究集会 岐阜県岐阜市(参加職員：2名)
	11月26日(木) ～27日(金)	・第9回全国校区・小地域福祉活動サミット 富山県黒部市(参加職員：2名)

ウ その他の研修

研修名	開催日	研修内容等
普通救命講習	12月18日(金) 1月18日(月) 1月22日(金)	・救急蘇生法、AEDの使用方法について 会場：津市久居消防署 (出席者：55名) (正規職員、嘱託職員、嘱託員、任期付職員、派遣職員、臨時職員、登録ヘルパー、外出支援サービス運転手、日常生活自立支援事業生活支援員、ほっとサービス協力会員)
安全運転講習	7月2日(木) 7月6日(月) 7月13日(月) 7月22日(水) 7月23日(木) 8月4日(火)	・交通安全に関する講話・実車体験等 会場：三重県交通安全研修センター (出席者：80名) (正規職員、嘱託職員、嘱託員、任期付職員、派遣職員、臨時職員、登録ヘルパー、外出支援サービス運転手、日常生活自立支援事業生活支援員、ほっとサービス協力会員)

(3)【重点】財政基盤の確立

ア 会員の加入促進による自主財源の確保(会員啓発活動)

貴重な自主財源である会費について、新たに賛助(団体・法人)会員を設け、各種団体にも積極的に依頼し加入促進を図った結果、関係団体・事業所・個人の方を合わせ597件(前年度実績444件)の賛同を得て、136万7000円(前年度実績98万5000円)の会費を納入いただき、社協だよりの発行とホームページの管理運営の財源に充当しました。

イ 各種基金・積立金等の安全・安定運用
債券運用指針に基づき、定期預金、国債、地方債等により安全かつ安定的な運用に努めました。

ウ 介護保険事業の効率的な運営
介護保険事業等については、訪問介護事業所の統廃合を行う等、組織体制の見直しによる効率化を図り、健全経営の理念のもと適正で安定した事業運営に努めました。

(4)【重点】新会計基準に基づく円滑な会計処理

「新会計基準」への移行初年度でもあり、透明性の担保と効果的・効率的な経営を目指す観点から、適正な会計実務に努めました。

(5)【重点】災害対応マニュアルの整備

災害発生時における事業継続の優先度や職員の参集状況に関することについて、平常時から全職員が認識を統一するための研修を重ね、事業継続計画に関する内容を盛り込んだ災害対応マニュアルの改正に取り組みました。

(6) 発展・強化計画の進行管理

1年目の評価を踏まえた業務改善に取り組むとともに、計画2年目としての新たな課題の洗い出しを行う等、組織体制の充実、事業の拡充に向けた取り組みを行い、計画全般の進行管理に努めました。

2 【重点】広報・啓発事業

(1) 広報・ホームページ等

広報誌やホームページ、ブログ等により、住民に対し本会の事業や地域の福祉活動に関する情報を幅広く提供するとともに、様々な機会を捉え、広報啓発活動の推進に努めました。

ア ホームページ、ブログによる福祉情報の発信

ホームページのリニューアルを行い、誰にでも見やすく、必要な情報を得やすい構成とし、内容の充実を図りました。地域福祉に関する情報を掲載して活動状況を発信する等、1年間で28,079回のアクセスがありました。

ブログでは、本会事業の啓発や地域のイベントなどの情報(記事数123)を提供し、年間6,216件の閲覧がありました。

イ 広報誌「つ社協だより」の発行(年5回/臨時号を含む)

全戸配布にて年5回、春号・夏号・秋号・新春号と臨時号(5月)を発行し、地域の福祉活動に関する情報や本会事業の紹介を行う等、内容の充実を図りました。

ウ 会員制度の周知・啓発

個人・団体・事業所等への会員制度の啓発を積極的に行ったことで、多数の賛同を得ることができ、前年度の実績を上回ることができました。

(2) 第10回津市社会福祉大会の開催

多年にわたり社会福祉事業に尽力された個人、団体の顕彰及び記念講演を津市との共催で行いました。

開催日 : 平成28年1月28日(木)

会場 : 津市白山総合文化センター しらさぎホール

参加者：約580名

顕彰：市長表彰（民生委員・児童委員功労者） 2名
会長表彰（民生委員・児童委員功労者） 3名
（社会福祉活動功労者） 29名
（社会福祉活動優良団体） 7団体
市長感謝（社会福祉事業協力援助者） 16団体
会長感謝（社会福祉事業協力援助者） 3団体
市長特別感謝 14名

記念講演：演題 「心ゆたかに生きる」

講師 南蔵院第二十三世住職 林 覚乗 氏

（3）福祉啓発事業（ふくしまつり等の開催）

津市内の各地域で行われるイベント等に合わせ、地区社会福祉協議会や自治会、商工会議所、中学・高校生等のボランティアと協働し、地域に密着した活動を通じて、幅広い世代との交流や津市社会福祉協議会事業の紹介や福祉活動、赤い羽根共同募金の啓発に努めました。

地域	参加事業	主な内容
津	高茶屋地区元気まつり	健康体操、社協事業啓発等
	南が丘ふれあいまつり	社協事業啓発等
	豊が丘ふれあいフェスタ	社協事業啓発、募金活動等
	垂水フェスタ	社協事業啓発等
久居	久居まつり	募金運動（街頭募金、古本バザー） 社協事業啓発、ゲームコーナー等
河芸	カムカムフェスタ・かわげフェスタ	募金活動（模擬店、不用品バザー）
芸濃	けんこう・ふくし@ふれあいまつり	社協事業啓発、募金活動
	Geinou X' mas 2015	募金活動
美里	美里夏まつり	募金活動（古本バザー、ゲーム） 介護相談
安濃	あのを「光れ！しかけ花火」まつり	社協事業啓発、募金活動（缶バッジ）
香良洲	ふれあいのかおり2015	社協事業啓発
一志	一志町ふれあいまつり	募金活動（缶バッジ）ゲームコーナー等
白山	ふれ愛フェスタ2015	社協事業啓発、子育て関連ブース、 募金活動等
美杉	みすぎ秋まつり	社協事業啓発、募金活動等

3 地域福祉推進事業

（1）小地域福祉活動支援事業

地域の課題に対して、住民主体の地域福祉活動につなげるため、地区社会福祉協議会をはじめとする地域の福祉関係団体等と連携・協働し、事業を推進しました。

津 地 域	津地域のサロン活動状況をまとめ、各サロンの充実、発展を図ることを目的に「ふれあい・いきいきサロン事例集」を作成しました。 (開催回数：5回)
久 居 地 域	「ともに支え合う地域づくり」をテーマに、地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、保健センター等と連携し、認知症の理解と日常生活自立支援事業の説明及び事例紹介を行いました。 (開催回数：1回、参加者数：41名)
河 芸 地 域	高齢者の孤立・孤独防止を目的に、歩いて集まれる場所で定期的に高齢者の集いが開催できるよう支援を行いました。 (開催回数：1回、参加者数：19名)
芸 濃 地 域	「地区社協ボランティア座談会～今後の地域づくりに向けて～」をテーマに、地区社会福祉協議会と連携し、ボランティア座談会を開催しました。 (開催回数：1回、参加者数：17名)
美 里 地 域	一人暮らし高齢者を対象として、職員と民生委員で戸別訪問し、簡易消火器具を渡すとともに安否確認及び防火啓発を行いました。 (実施回数：1回、訪問回数：49戸)
安 濃 地 域	親子の交流とボランティア研修を目的に、子育て支援センターと協働し、「絵本読み聞かせLIVE」を開催しました。 (開催回数：1回、参加者数：121名)
香 良 洲 地 域	男性のサロンへの参加を推進するため、「男のサロン」を開催しました。 (開催回数：1回、参加者数：12名)
一 志 地 域	子育て世代と祖父母世代の世代間交流を通じて、地域での子育てを支援していくことを目的に、「じいじ・ばあばと集うクリスマス会」を開催しました。 (開催回数：1回、参加者数：80名)
白 山 地 域	元取地区の課題に即した福祉活動を行うために、地域福祉活動の検討をし、支えあいのしくみを作り実施しました。また、安心支え愛マップの情報更新を行いました。 (開催回数：20回、参加者数：99名)
美 杉 地 域	少子高齢化した広域的な地域において、親子の交流を促進し、子育ての不安を解消することを目的に、「子育てデイキャンプ」を開催しました。 (開催回数：1回、参加者数：100名)

(2)【重点】ふれあい・いきいきサロン事業(市受託)

高齢者や障がい者、子育て中の親子等、誰もが楽しく気軽に参加できる「地域の居場所」として、ふれあい・いきいきサロンが広がり、サロン数も市内に311(社協把握分)となり、交流や介護予防の啓発、地域の絆づくり、見守り活動につながるよう支援しました。

ア ふれあい・いきいきサロンへの運営支援

社協職員参加回数・参加者数

参加回数	1,090回
参加者数	14,771名

※地域別の回数及び参加者数は、巻末資料のとおりです。(P39)

イ ふれあい・いきいきサロン新規立ち上げ支援

新規立ち上げ数(社協立ち上げ支援事業利用分)

新規サロン数	14件
--------	-----

ウ 研修会の開催

(ア) ふれあい・いきいきサロン講習会の開催

サロンに携わる方たちが、サロンで使えるレクリエーションを知ること、交流することで、より主体的で活発な活動なるよう講習会を開催しました。

研修名	開催日	内容等
平成27年度 ふれあい・いき いきサロン講習会	6月8日(月)	サロンで使えるレクリエーション 講師：いなべ市社会福祉協議会 介護支援課長 稲葉淑乃 氏 会場：津市久居総合福祉会館 (参加者：110名)

(イ) ふれあい・いきいきサロン交流会の開催

サロンに携わる方たちが集い、他市の実践事例を聞くこと、活動報告・交流をすることで、内容の充実やサロン活動から見守り活動へとつなげる等、サロン活動の活性化が図れるよう開催しました。

研修名	開催日	内容等
平成27年度 ふれあい・いき いきサロン交流会	3月4日(金)	サロンの魅力を再発見!! 講演「サロン活動から見守りへ ～たかしま流見守りネットワーク活動～」 講師：高島市社会福祉協議会 係長 杉本学士 氏 会場：津市久居総合福祉会館 (参加者：116名)

(3) 地域ケア体制推進事業

在宅の要援護高齢者や要援護となる恐れのある高齢者等が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、介護・福祉に関する各種相談に応じるとともに、関係機関との意見交換や研修会を開催し、地域の見守りネットワークづくりを推進しました。

ア 相談業務実績

(単位：件)

来所相談	訪問相談	電話相談	その他	合計
914	35	653	115	1,717

イ 地域での研修会・会議

開催日	会場・参加者数	テーマ
5月8日(金)	津市サンヒルズ安濃 17名	みまもり研究会あのう ・見守りパンフレットについて
6月18日(木)	津市白山保健福祉センター 36名	「里親制度について」研修会
6月18日(木)	津市白山保健福祉センター 36名	行政、社協、包括、地区社協、民生委員・児童委員、保健センターによる意見交換会
7月6日(月)	津市白山保健福祉センター 41名	ふれあい・いきいきサロン交流会(白山地域)
7月10日(金)	津市サンヒルズ安濃 17名	みまもり研究会あのう ・みまもり活動の今後の展開
9月11日(金)	津市サンヒルズ安濃 15名	みまもり研究会あのう ・介護予防事業・日常生活支援総合事業意見交換会について
9月17日(木)	津市白山保健福祉センター 36名	行政、社協、包括、地区社協、民生委員・児童委員、保健センターによる意見交換会
11月6日(金)	津市サンヒルズ安濃 16名	みまもり研究会あのう ・介護保険の改正について ・今後の津市の方向性について
11月19日(木)	津市白山保健福祉センター 36名	マイナンバー制度における支援者としての役割について
1月8日(金)	津市サンヒルズ安濃 20名	みまもり研究会あのう ・介護保険制度について ・見守りパンフレットについて
2月18日(木)	津市白山保健福祉センター 36名	高齢者福祉の現状と相談から見守りへ
3月17日(木)	津市サンヒルズ安濃 20名	みまもり研究会あのう ・サロン活動について ・介護保険制度について

ウ 面接技術研修会の開催

相談業務に携わる職員を対象として、面接の意義やワーカーに求められる技術の修得を目的に、ロールプレイ形式による研修を実施しました。

研修名	開催日	内容等
面接技術研修会	12月12日(土)	講師：日本福祉大学 中央福祉専門学校 渡辺哲雄氏 会場：津市美里社会福祉センター (参加者：42名)

(4) 要援護者対策地域見守りネット活動（絆のバトン）事業（市受託）

70歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、地区社会福祉協議会の協力により、絆のバトンの配布及び継続的な見守り活動を行うことで地域福祉活動の推進を図りました。

ア 事業の実施

平成27年度については、新たに2地区社会福祉協議会（芸濃、明合）が取り組みを始めました。現在、24地区社会福祉協議会（北立誠、敬和、養正、修成、育生、南が丘、神戸、高茶屋、雲出、一身田、津西、藤水、榊原、栗葉、戸木、桃園、誠之、芸濃、草生、村主、安濃、明合、美里、香良洲）が取り組んでいます。

イ 地域見守り推進研修会の開催

本部・支部名	開催日・会場・参加者数	研修内容等
本部（全域）	6月23日（火） 津市美里社会福祉センター 163名	講演 ささえ愛でつながりづくり 講師 三重短期大学 教授 長友 薫輝 氏 事例報告1 みまもり研究会あろう 事例報告2 成美地区社会福祉協議会
久居支部	9月24日（木） 榊原温泉清少納言 38名	【榊原暮らしを支える見守り会議】 講演 高齢者とのコミュニケーション 聞く力と伝える力 講師 三重短期大学 講師 中道 和久 氏 見守りチーム活動発表
芸濃支部	12月17日（木） 津市芸濃庁舎 62名	講演 ～思いをつなぐ～笑ンディングノート 講師 社会人落語家 生島清身 氏
香良洲支部	2月23日（火） 津市サンデルタ香良洲 27名	講演 地域でささえられる見守り活動 講師 鈴鹿医療科学大学 准教授 蒔田 勝義 氏
一志支部	3月11日（金） 津市とことめの里一志 40名	講演 今、改めて地域のつながりについて考 える～ふくし住職の実践から 講師 蓮光寺住職 松尾 弘也 氏
白山支部	1月20日（水） 津市白山保健福祉センター 40名	テーマ 白山福祉を考える会 ・白山地域の現状（高齢者福祉）の共有 ・白山地域の社会資源の紹介 ・必要な社会資源の検討

ウ 地域での説明会

地域における見守り活動の必要性について理解を深めていただくため、17回の説明会を開催し、延288名の方に参加していただきました。

(5) 子育て支援推進事業

安心して子育てできる地域をつくるため、地域の実情において関係機関と連携し、事業の実施を行い、子育て支援の推進に取り組みました。

(6) 敬老事業

多年にわたり地域社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、その長寿をお祝いするとともに、高齢者を大切にすることを目的に地区社会福祉協議会や自治会を単位として実施された敬老事業を支援しました。主な内容は、歌、踊り、講演等を取り入れた交流会と記念品の配布となっています。

実施主体：各地区社会福祉協議会

交付金額：58,984,000円

対象数：59,103名（70歳以上の者）

(7) 福祉団体支援事業

ア 津市地区社協連絡協議会への支援・協力

地域の課題解決のための情報交換や協議が行えるネットワークを構築し、地域福祉活動の推進に取り組むため、津市地区社協連絡協議会の運営と活動を支援しました。

イ 地区社会福祉協議会との連携・協働等

市内の43地区社会福祉協議会と連携・協働し、関係性を深めながら、様々な地域福祉活動（敬老会、子育て支援、ふれあいいいききサロン活動、交流会等）を支援しました。

ウ 津市民生委員児童委員連合会及び各地区民生委員児童委員協議会との連携・協働

津市民生委員児童委員連合の三役会、会長会議及び研修会に参加・協力し、相互の情報共有と連携強化に努めました。また、各地区民生委員児童委員協議会の会議にも参加し、地域の福祉活動状況や課題等についての情報共有を行いました。

エ 福祉団体との連携・協働

地域を基盤とした福祉団体の活動（各種大会、視察研修等）を支援するとともに、連携・協働し地域福祉の推進に取り組みました。

(8) 福祉人材育成事業

大学、専門学校、高等学校等からのヘルパー同行実習、社会福祉援助技術実習の依頼により、福祉マンパワーの育成を目的に実習生を受入れました。通所介護では、県社協に登録し実習受入れ体制を整え、教職員の介護現場体験の受入れを行いました。

また、社会福祉相談援助実習については、職員（社会福祉士資格者）2名が「相談援助実習指導者講習会」（2日間）を受講し、実習受け入れ体制の強化を行いました。

看護師養成実習に関しては、職員1名が保健師助産師看護師実習指導者講習会を受講し、実習受け入れ体制を整えました。

実習内容	人数
介護職員初任者研修実習	7名
社会福祉士養成実習	5名
看護師養成実習	20名
職場体験等	5名
介護体験	9名
社会体験	1名

(9) 心配ごと相談事業

複雑・多様化する地域住民からの相談に対して、各支部で弁護士による法律相談、津支部では元公証人及び司法書士による専門相談を行いました。

事業種別	弁護士相談	相続・贈与・土地問題の 相談（司法書士）	法律相談 （元公証人）
相談所開設回数	48回	11回	23回
利用者数	242名	76名	73名

※弁護士相談の地域別の相談回数及び相談者数は、巻末資料のとおりです。（P39）

(10) 声の広報等発行事業（市受託）

津市内在住の視覚に障がいがある方などを対象に、社会活動への参加及び自立を促進するため、ボランティアサークル「津朗読会」の協力を得て、日常生活に関する情報をCD版に録音し、声の広報を希望される方々に配布しました。

ア 発行物及び回数

発行物	発行回数	対象者数
広報津	年24回	49名（延790名）
津市議会だより	年4回	44名（延106名）
つ社協だより	年5回	45名（延128名）
暮らしの情報	年12回	49名（延412名）

イ 声の広報発行事業の充実

研修名	開催日	内容等
リスナー・関係機関の意見交換会	8月20日（木）	意見交換会 津市ふれあい会館28名

ウ 声の広報発行事業協力者の育成

講座名	開催日	講座内容等
音声訳入門講座	10月7日（水）	開講式、視覚障がい者と音訳等 津センターパレス3階 4名
音声訳入門講座	10月14日（水）	音声化技術の実際 津センターパレス3階 4名
音声訳入門講座	10月21日（水）	処理技術について① 津センターパレス3階 4名
音声訳入門講座	10月28日（水）	処理技術について② 津センターパレス3階 3名
音声訳入門講座	11月4日（水）	調査技術について 津センターパレス3階 3名

音声訳入門講座	11月11日(水)	録音技術について 津センターパレス3階 3名
---------	-----------	---------------------------

エ 点字シール作成

津市内在住の視覚に障がいがある方で、点字シール貼付希望者を対象に、ボランティアサークル「津点訳友の会」の協力を得て、津市が送付する通知文書(封筒)の郵送用点字シールを作成しました。

依頼回数	2回
点字シール数	552枚

(11) 外出支援サービス事業

単独で外出することや公共交通機関の利用が困難な障がい者、高齢者等に対し、通院や社会参加等のための外出支援を行いました。

(単位：回)

通院	買物	レジャー	その他	合計
199	10	4	14	227

(12) 社協ほっとサービス事業

誰もが住み慣れた地域で暮らすことができる地域づくりを推進するために、地域のつながりや会員同士のささえあいにより、在宅生活に不安のある方の支援に取り組みました。

協力会員 登録者数	利用会員 登録者数	延稼働者数	延利用者数
38名	58名	68名	68名

(13) 配食サービス事業(市受託)

美杉地域において、おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、心身の障がい及び傷病等の理由により、調理が困難な方々に弁当を提供し、食事の確保と安否確認を行い、安心して自立した在宅生活を送れるよう支援しました。

利用者数	月平均 11.1名
配食数	月平均 165食

(14) 地域福祉活動計画

ア 推進委員会の開催

本会が地域福祉を担っていく方策を定め、津市の地域福祉を推進する上で大きな柱として策定した「第2次津市地域福祉活動計画」の着実な推進と実効性を担保するため、第2次津市地域福祉活動計画推進委員会を開催し、重点事業や新規事業の方向性や計画の進捗状況を確認し、計画の推進を図りました。

会議名	開催日	事項等
第1回 推進委員会	5月12日(火)	・平成26年度事務事業評価(年度末評価)まとめについて
第2回 推進委員会	11月27日(金)	・平成27年度重点事業及び新規事業(中間点検)について ・平成27年度事務事業評価(中間点検)について

イ 事務事業評価の実施

本会の活動の進捗状況を定期的に検証し、地域住民のニーズに対応した効果的・効率的な事業運営を図り、第2次津市地域福祉活動計画に基づいた活動を推進するために事務事業評価を実施しました。

実施時期 : 10月(中間点検)、3月(年度末評価)

評価事業数 : 69事業

主な評価項目 : 事業内容、取組内容、点検・評価、今後の方向性・目標

(15) 社会福祉法人三重県共同募金会への支援・協力

社会福祉法人三重県共同募金会を支援し、津市共同募金委員会が実施する「赤い羽根共同募金」に協力しました。

「赤い羽根共同募金運動」では、各家庭からの戸別募金、企業や事業所からの法人募金、官公庁や企業の職員からの職域募金、小・中学校、高等学校等で児童・生徒に呼びかけて行う学校募金、スーパーの店舗前や駅前等における街頭募金等、様々な共同募金運動を各地域で行いました。

ア 平成27年度赤い羽根共同募金運動(10月1日～12月31日)の実績報告

目標額 : 42,614,000円

実績額 : 44,114,377円(達成率103.52%)

イ 運営委員会の開催

会議名	開催日	事項等
第1回運営委員会	6月11日(木)	・赤い羽根共同募金について ・平成26年度津市共同募金委員会寄付金経理区分資金収支決算及び平成26年度津市共同募金委員会経理区分資金収支決算について ・平成27年度共同募金委員会寄付金経理区分資金収支予算(案)について ・平成27年度津市共同募金委員会経理区分資金収支予算(案)について
第2回運営委員会	8月6日(木)	・平成27年度津市共同募金委員会目標額(案)について ・平成27年度津市共同募金委員会運動計画について ・三重県社会福祉大会における共同募金功労者等の顕彰推薦について

第3回運営委員会	2月26日(金)	・平成27年度赤い羽根共同募金運動報告について
----------	----------	-------------------------

ウ 審査委員会の開催

会議名	開催日	事項等
審査委員会	6月11日(木)	・平成27年度(平成28年度充当)共同募金配分申請について

エ 監査会の開催

会議名	開催日	事項等
津市共同募金委員会 監査会	4月21日(火)	・平成26年度(平成27年度充当)津市共同募金委員会会計決算の監査について

4 介護予防事業

(1) 介護予防事業

元気な方が要介護状態にならないように、また、介護が必要な方でもできる限り機能を維持・改善できるよう日常生活を活発にし、いきいきと生活できるような事業を開催しました。

ア 転倒予防教室

転倒予防の講話や体操などを実施し、転ばない体づくりを学び、寝たきりになることを予防するための転倒予防教室を開催しました。

開催回数	21回
参加者数	998名

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。(P39)

イ 認知症予防教室

認知症予防の講話やレクリエーション、創作活動などを実施し、認知症の予防についての理解を深めるとともに、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて、認知症予防教室を開催しました。

開催回数	21回
参加者数	503名

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。(P40)

ウ 家族介護教室

家族を介護している方、また介護に関心のある方を対象に、介護のコツやリフレッシュ方法を学び、孤立を防ぐための家族介護教室を開催しました。

開催回数	16回
参加者数	293名

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。(P40)

(2) 一次予防事業（元気アップ教室）

二次予防事業を終了した方や、参加希望者を対象に、体力向上、介護予防の健康教育の取組みを通じて、要介護状態等になることを予防し、また、参加者自らが地域の活動に参加し、介護予防に取り組めるように支援する「元気アップ教室」を各教室6回開催しました。

(単位：名)

開催場所	4月～9月		10月～3月	
	延参加者数	1回平均	延参加者数	1回平均
北部市民センター	131	21.8	140	23.3
河芸ほほえみセンター	100	16.6	82	13.6
高岡公民館	55	9.1	50	8.3
白山保健センター	68	11.3	102	17.0
美杉高齢者生活福祉センター	95	15.8	77	12.8
合計	449	14.9	451	15.0

(3) 津市まん中老人福祉センターの健康相談等に関する事業

高齢者が地域でいきいきと暮らせるように、看護師による健康相談や健康づくり、介護予防、介護保険制度等、高齢者に有用な情報を提供しました。

(単位：名)

	健康相談(月2回)	介護予防教室(月1回)
まん中老人福祉センター	373	132
北部市民センター	132	
合計	505	132

5 共同募金配分金事業

地域で集められた赤い羽根共同募金を配分金として、地域福祉推進のために実施する地区社会福祉協議会及び福祉団体の事業に助成を行いました。

地区社会福祉協議会：43地区

福祉団体等：42団体

6 日常生活自立支援事業

津日常生活自立支援センターとして、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理の援助を行いました。

また、職員資質向上のため、各種研修に参加し、専門知識の向上に努めるとともに、一般住民を対象にした研修会を実施しました。

ア 支部別利用者数及び支援件数

	津		久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
	地域福祉課	津支部										
利用者数	47名	23名	33名	11名	5名	1名	3名	4名	4名	3名	1名	135名
支援回数	1,004回	647回	604回	267回	170回	26回	27回	48回	86回	107回	21回	3,007回

イ 相談件数（問合わせ・初回相談・相談援助）

（単位：件）

	日常生活自立支援事業利用に関するもの				合計
	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
問合わせ	83	51	71	21	226
初回相談	49	36	34	2	121
相談援助	489	574	528	20	1,611
合計	621	661	633	43	1,958

ウ 全国社会福祉協議会、三重県社会福祉協議会主催の研修会等への参加

研修名	開催日	研修内容等
新任専門員研修会	4月14日（火） 10月20日（火）	・事業概要 ・契約締結判定ガイドラインの取り方 三重県社会福祉会館 職員9名 (4月14日(火)8名、10月20日(火)1名)
新任専門員フォローアップ研修会	2月12日（金）	・先輩専門員からのスーパーバイズ 三重県社会福祉会館 職員2名
第1回専門員事例検討会	8月24日（月）	・事例検討 三重県社会福祉会館 職員6名
第2回専門員事例検討会	11月18日（水）	・事例検討 三重県社会福祉会館 職員2名
生活支援員研修会	10月6日（火）	・利用者との関係づくりと支援方法について 三重県総合文化センター 職員21名

エ 本会主催の研修会

研修名	開催日	研修内容等
平成27年度日常生活自立支援事業研修会	8月30日(日)	「成年後見制度の基礎理解と後見支援の必要性について」 講師：熊田法律事務所 熊田 均 氏 パネラー3名 会場：津市美里社会福祉センター 参加者：一般住民、職員等 103名
平成27年度生活支援員等研修会	2月29日(月)	「事例検討を通じて生活支援員の役割について学び合う」 講師：ふじ社会福祉士事務所 所長 藤井 由紀子 氏 パネラー3名 会場：津市サンヒルズ安濃 参加者：職員30名

7 成年後見サポートセンター事業

判断能力が不十分な方々に成年後見制度利用へのサポート等を行う「(仮称)津市成年後見サポートセンター」の設立に向け、法律、医療、福祉関係者等と連携した事業検討委員会を開催し、平成28年度への準備を行いました。

また、本会職員と津市職員でワーキングチームを構成し、事業検討委員会と並行して事業検討を行い、職員の専門性向上のため各種研修会にも参加しました。

ア (仮称)津市成年後見サポートセンター事業検討委員会の実施

会議名	開催日	内容等
第1回事業検討委員会	10月22日(木)	・委員委嘱 ・委員長・副委員長の選任について ・県内他市の成年後見サポートセンター運営状況について 出席者：13名
第2回事業検討委員会	12月17日(木)	・伊賀地域福祉後見サポートセンター視察研修の報告について ・津市成年後見サポートセンターの役割について 出席者：12名
第3回事業検討委員会	2月25日(木)	・法人後見受任対象者について ・各検討委員との連携について ・センター名称について ・開設準備委員会について 出席者：10名

イ (仮称) 津市成年後見サポートセンターワーキング会議の実施

会 議 名	開 催 日	内 容 等
第1回ワーキング	5月26日(火)	・設立に向けてのタイムスケジュール ・津市におけるニーズ把握 ・研修について
第2回ワーキング	6月18日(木)	・津市地域福祉政策事務者会議の報告 ・成年後見利用支援に関わる事例の共有 ・アンケート調査について
第3回ワーキング	8月11日(火)	・アンケート調査報告について ・成年後見サポートセンター機能について ・事業検討委員会について
第4回ワーキング	10月5日(月)	・事業検討委員会委員について ・第1回事業検討委員会事項について
第5回ワーキング	11月26日(木)	・第1回法人後見事例検討会の報告 ・第1回事業検討委員会の報告 ・第2回事業検討委員会事項について ・成年後見制度に関する勉強会
第6回ワーキング	1月27日(水)	・法人後見事業開始時期について ・第3回事業検討委員会事項について ・成年後見制度に関する勉強会

ウ 各種研修会への参加

研 修 名	開 催 日	研 修 内 容 等
法人後見従事者養成研修	11月11日(水) 12月16日(水) 1月20日(水) 2月10日(水)	・成年後見制度の理解 ・法人後見実務等 会場：日本福祉大学名古屋キャンパス 職員1名
親族後見人支援研修	3月3日(木) 3月17日(木)	・後見事務等 会場：三重県社会福祉会館 職員2名
平成27年度法人後見 従事者養成研修	1月29日(金) 2月1日(月)	・成年後見概論 ・法人後見の機能と役割等 会場：三重県社会福祉会館 職員2名

8 ボランティアセンター事業

(1) ボランティア活動への相談、登録、斡旋事業とボランティア活動保険

津市ボランティアセンターとして、支部ごとにボランティアセンターを設置し、ボランティア登録を受付け、ボランティア活動希望者とボランティア依頼とのコーディネートをしたり、各種ボランティア講座を実施する等ボランティア活動の推進を図りました。

ア 相談、登録、斡旋等

ボランティアに関する相談やボランティアの登録を受付け、地域の施設や関係団体からのボランティア活動依頼に対するコーディネートを行いました。

イ ボランティア活動に関する保険の取り扱い

安心してボランティア活動が行えるよう「ボランティア活動保険」及び「ボランティア行事用保険」を周知・啓発し、保険の加入を斡旋しました。

(2) ボランティア啓発事業

ボランティア情報誌「ぼらん津」、「社協だより」の発行やショッピングセンターでの街頭啓発を通じて、ボランティア活動やボランティアセンターについての情報提供や啓発に努めるとともに、様々な関係機関や団体との連携・協働を行いました。

ア 広報誌による啓発

広報誌「ぼらん津」 ※各支部発行	発行回数 30回
社協だより	掲載回数 5回

イ 街頭啓発・展示

実施日等・場所	内容
7月25日(土) イオン津・イオン津南	ボランティアセンターの啓発パンフレットとティッシュの配布
1月16日(土) イオン津南	災害ボランティアセンターの啓発パンフレットとティッシュの配布
1月15日(金)～1月21日(木) イオン津南 デポ前通路	災害ボランティア及び災害ボランティアセンターのパネル展示

ウ 関係機関及び団体との連携・協働

(ア) 津市ボランティア協議会及び各地区ボランティア連絡会への参画

(イ) 津市ユニバーサルデザイン連絡協議会への参画

(ウ) 津市民防災大学実行委員会への参画

(エ) ふれあいカレッジ実行委員会への参画

(3) ボランティア育成・推進事業

ア ボランティア育成講座

ボランティア活動へのきっかけづくりとして、また、各地域で必要とされているボランティアの育成を目的にボランティア講座を開催しました。

支部名	開催日・参加者数・会場	講座名・内容等
津支部	2月5日(金) 15名 2月15日(月) 10名 津保健所	【精神保健福祉ボランティア講座】 ・こころを診るということとは！？ ・津市の社会資源について ・ボランティアを始めるにあたっての留意点 ・当事者の立場から(体験談報告) ・精神障がい者サロンについて
久居支部	3月7日(月) 29名 津市久居総合福祉会館	【ささえあいづくりを考える】

		これまで地域で困っている人をどのようにささえてきたかを振り返り、地域のささえあいのあり方を参加者で考えた。
河芸支部	12月14日(月) 22名 津市河芸ほほえみセンター	【傾聴ボランティア講座】 ・傾聴について ・傾聴技法の体験（ロールプレイ） ・意見交換会
芸濃支部	9月12日(土) 124名 津市立芸濃中学校	【災害ボランティア講座 ～自分たちにできること～】 中学生を対象に、ペアワークを取入れた講義で「自分たちにできること」を考えるとともに、災害時の助け合いとボランティア活動について考え、将来への気づきを促した。
美里支部	11月2日(月) 15名 津市美里社会福祉センター	【ペープサートを学ぼう】 ・ペープサートとは ・図書からネタづくりへ ・紙人形の作成 ・今後の活動展開
安濃支部	3月1日(火) 30名 津市サンヒルズ安濃	【サロンボランティア始めませんか？折り紙編】 サロン活動者やこれから活動される人を対象に、認知症予防として「折り紙」に焦点を当てて実施した。
香良洲支部	7月31日(金) 7名 8月4日(火) 7名 東山荘	【小・中学生のボランティアスクール】 ボランティアに関心のある小学生と中学生が地域のボランティアと交流し、ボランティア活動に対する理解と関心を深めた。
一志支部	2月15日(月) 45名 津市とことめの里・一志	【特技をボランティアに活かしませんか】 ・個別の動きから全体の動きへ ・ボランティア活動の意義 ・広がるといいなこんなボランティア ・さあ出番です！自分にできることを考えよう
白山支部	3月7日(月) 25名 3月14日(月) 22名 津市白山保健福祉センター	【スタスタ大作戦 in 白山】 ・白山地域の高齢者福祉の現状 ・介護保険制度改正のポイント ・介護予防の必要性 ・ボランティアについて ・体験（スタスタ体操、筋力トレーニング等）
美杉支部	3月23日(水) 20名 津市美杉高齢者生活福祉センター	【サロンボランティア講座】 地域のいきいきサロンで使える、健康体操や認知症予防、筋力トレーニング、レクリエーションを学びました。

イ ボランティア交流会

各地域のボランティア及びボランティア団体間の情報交換と連携・協働を進めるこ

とを目的として、支部単位でボランティア交流会を開催しました。

支部名	開催日・会場・参加者数		
津支部	3月5日(土)	津センターパレス	9名
久居支部	3月6日(日)	津市久居総合福祉会館	21名
河芸支部	8月28日(金)	津市河芸ほほえみセンター	20名
美里支部	1月24日(日)	津市美里社会福祉センター	23名
安濃支部	12月20日(日)	明合団地集会所	21名
香良洲支部	1月26日(火)	津市サンデルタ香良洲	14名
一志支部	2月15日(月)	津市大井公民館	45名
白山支部	3月16日(水)	津市白山保健福祉センター	13名
美杉支部	2月2日(火)	津市美杉高齢者生活福祉センター	8名

ウ 津市ボランタリーフォーラム検討会

平成28年度に合併10周年を記念した津市ボランタリーフォーラムを開催するにあたり、検討会を開催しました。

開催日：5月18日(月)、7月2日(木)、1月6日(水)

(4)【重点】災害ボランティアの育成

ア 災害ボランティア事前登録

平時から災害に備えるとともに、災害時には関係機関と連携・協働し、災害ボランティア活動による被災地支援が行えるよう災害ボランティアの事前登録を始め、今後、災害ボランティアの事前登録についての啓発を各地域単位で行っていきます。

イ 災害ボランティア研修会の開催

大規模災害発生後、早期の復興に必要な存在である災害ボランティアの啓発と育成を目的に、災害ボランティア活動の実際と課題に主眼を置いた研修会を開催しました。

研修名	開催日・会場	内容等
災害ボランティア研修会	2月20日(土) 津市美里社会福祉センター	演題「誰でもできる災害ボランティア活動」 講師 特定非営利活動法人 みえ防災市民会議 議長 山本 康史 氏 活動発表 三重大学大学院卒業生 片山 誠一 氏 参加者数 145名

ウ 災害ボランティアセンター関連事業

(ア) 災害ボランティアセンター設置運営等訓練

南海トラフを震源域とした巨大地震に対する備えとして、津市総合防災訓練において、津市市民部地域連携課と連携・協働し、災害ボランティアセンターの設置に重点を置いた訓練を実施しました。また、津市ボランティア協議会との連携・協働による、避難所での要援護者困りごと調査訓練を行いました。

開催日：平成27年11月22日(日)

会 場 : 津市河芸第2グラウンド

参加者 : 職員13名

(イ) 津市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの作成

津市が大規模災害に被災した時に設置され、災害ボランティア活動による復興を推進する津市災害ボランティアセンターの設置と運営に関するマニュアルの作成に取り組みました。

(5) 福祉協力校推進事業

体験学習やボランティア活動を通じて社会福祉への理解と関心を深めるため、市内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を対象とし、申請があった学校を「福祉協力校」として指定しました。指定を受けた学校には助成金を交付し、社会福祉に関わる活動に取り組んでいただきました。

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
指定校数	51校	20校	5校	4校	80校

※福祉協力校名は、巻末資料のとおりです。(P40)

(6) 福祉教育推進事業

地域の福祉課題について考え、地域福祉活動やボランティア活動を通じて子どもたちや地域住民の福祉意識を高める機会を提供しました。

ア 市内の各学校が福祉体験やボランティア活動などの実施に向けて福祉教育の理解を深めるため、地域ごとに福祉教育推進会議を開催しました。

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
参加校数	47校	20校	3校	2校	72校

※参加いただいた学校名は、巻末資料のとおりです。(P41)

イ 学校と本会とつながり、子どもたちが豊かな学校生活と地域生活を営むための福祉教育を学ぶことを目的に、学校関係者と本会の福祉教育交流会を開催しました。

交流会	開催日	内容等
福祉教育交流会	8月18日(火)	演題:ちょっと気になる子どもたちとのクラスづくりについて 講師:東京都日野市教育委員会 特別支援教育総合コーディネーター宮崎芳子氏 会場:津市美里社会福祉センター (参加者:37名)

ウ 津市社会福祉事業団と連携し、市内の小学生、中学生、高校生を対象に、ボランティア体験や障がいのある方との交流を深めるため、福祉デイキャンプを開催しました。

また、子どもから高齢者まで地域住民を対象に「福祉出前講座」(市内の小・中学校、高等学校、自治会、民生委員児童委員協議会等:延73回、延2,843名)を実施し、車いす体験やアイマスク体験等を通じて福祉意識の向上に努めました。

福祉デイキャンプ

開催地域	開催日	参加者数	内容等
北部エリア	8月29日(土)	31名	・障がいについての事前学習 ・むくの木ワーク利用者との交流
南部エリア	8月5日(水)	28名	・まつぼっくり作業所利用者との交流 (昼食づくり、レクレーション、作業所で日常行っている作業)

エ 地域の課題やニーズに視点を持ち、地域福祉教育を進める取組みとして、地域を基盤とした福祉教育に関する事業を各地域で行いました。

開催地域	開催日	参加者数	内容等
(津地域) アスト津	1月16日(土)	約300名	【お笑いこころのサミット】 精神障がいの方が地域で安心して暮らしていくため、精神障がいの正しい理解が必要であることから、心の病気について地域住民を対象に啓発を行いました。
(河芸地域) 上野小学校	11月15日(日)	約400名	【地域で考えよう！赤い羽根共同募金】 河芸地域の共同募金の使途や共同募金について、若年層を中心に啓発を行い、福祉教育の機会としました。
(芸濃地域) 津市芸濃地域	通年		【ともに育むふくしのこころ】 児童・生徒が地域の様々な人との出会いを通して、自分と違う立場の人と認め合うことや共に生きていく力、人の気持ちに共感できる力を育むため、交流事業を行いました。また、学校と連携できるよう基盤づくりに努めました。
(安濃地域) 岡南区公民館	12月13日(日)	約60名	【みんなでつくるクリスマス】 地域内のすべての住民を対象に、誰もが集える憩いの場「サロン」を開設しました。高齢者の参加が多いなか、若者や子ども、子育て世代も参加しやすい内容を企画し実施することで、世代を超えた交流ができ、住民同士のつながりを深めることができました。
(一志地域) とことめの里 一志	7月2日(木)	57名	【七夕じいじ&ばあばのねがいごと】 地域の子育て応援として、地域の子育て支援センターと協働し、子育て世代と孫育て世代の世代間交流を行い、地域での子育てに関心を深めることができました。

(白山地域) 白山保健センター	通年		【子育て支援ネットワーク事業】 発達障がいや発達に不安のある親子への支援、子育て支援全般を見据え、関係機関とのネットワークの構築をめざし、子育て支援ワーキンググループや発達支援勉強会の開催、地区社協主催子育て親育ち事業の支援を行いました。
--------------------	----	--	--

(7) 障がい者（児）福祉推進事業

学校、幼稚園、保育園、保健センター等の関係機関と連携を図りながら、発達に不安のある子と障がい児の親子のニーズを把握するとともに、夏休み中の居場所づくりとして交流会を開催しました。

北部エリア

行 事 名	開催日・会場	内 容 等
歌って、つながる夏休み	8月12日（水） 津市サンヒルズ 安濃	・音楽療法 講 師 三重県いなば園 米倉恵里 氏 ・レクリエーション ・参加者の交流 参加者：14名

南部エリア

行 事 名	開催日・会場	内 容 等
思いのままに遊ぼう (交流会)	8月27日（木） 津市一志保健センター	・音楽療法 テーマ「音楽でつながろう」 講 師 音楽療法士 山本佳子 氏 ・ふれあい喫茶 ・思いのまま遊ぼう～スポレク～ 参加者：15名

9 生活福祉資金貸付事業（低所得者支援事業）（県社協受託）

低所得世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に対し、生活福祉資金の貸付と、民生委員・児童委員の協力を得て必要な援助指導を行い、安定した生活を送れるように支援しました。

相 談 件 数	873件
貸 付 件 数	122件

※地域別の相談件数及び貸付件数等は、巻末資料のとおりです。（P42）

10 福祉基金・資金事業

(1) 社会福祉基金助成事業

基金運用益を財源として、地区社会福祉協議会及び福祉団体の事業の更なる充実と、より一層の活動に取り組めるよう助成を行いました。

- ア 地区社会福祉協議会 43地区
- イ 福祉団体等 36団体
 - 内訳

{	老人クラブ連合会	4団体	手をつなぐ親の会	7団体
	身障者福祉連合会	10団体	母子父子寡婦福祉会	10団体
	その他	5団体		
- ウ 団体支援室 10団体
- エ 津市地区社協連絡協議会

(2) 地域福祉資金助成事業

津市内の43地区社会福祉協議会の実施する交流会や見守り活動などの地域福祉活動に助成を行い、地域福祉活動の推進を図りました。

【介護サービス事業】(拠点区分)

1 【重点】訪問介護事業(3事業所)

(1) 介護保険事業

利用者が居宅で自立した日常生活を営むことができるよう、介護サービス計画に基づき、身体介護・生活援助のサービスを実施しました。

ア 事業所別利用延回数 (単位:回)

	久居・美里	河芸・芸濃・安濃	一志・白山	合計
要介護	4,124	6,192	8,606	18,922
要支援	1,099	2,202	2,852	6,153
合計	5,223	8,394	11,458	25,075

イ 介護度別利用延回数 (単位:回)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用件数	4,736	6,734	4,179	1,344	1,929	6,153	25,075
割合	19%	27%	17%	5%	8%	24%	100%

(2) 軽度生活援助事業

3事業所(2事業所で利用有り)において、ひとり暮らし高齢者、または高齢者のみの世帯の介護保険非該当者等で、日常生活上の援助が必要な方に、家事等の支援を行うことで介護予防に努めました。

事業所別利用延回数 (単位:回)

	久居・美里	河芸・芸濃・安濃	一志・白山	合計
軽度生活援助	51	0	84	135

2 通所介護事業（4事業所）

（1）介護保険事業

4事業所において、食事・入浴等の日常生活の支援や日常動作訓練・レクリエーション等を提供し、利用者の自立支援と介護予防の促進、家族の介護負担の軽減を支援しました。

ア 事業所別利用延回数 (単位：回)

	美里	一志	白山	美杉	合計
要介護	2,006	4,558	3,507	2,815	12,886
要支援	553	1,495	337	234	2,619
計	2,559	6,053	3,844	3,049	15,505
事業日数	258日	258日	188日	258日	962日
1日の平均利用者数	9.9人	23.5人	20.4人	11.8人	16.1人

イ 介護度別利用延回数 (単位：回)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用件数	4,216	4,255	2,688	1,033	694	2,619	15,505
割合	27%	28%	17%	7%	4%	17%	100%

（2）生きがい活動支援通所事業〔市受託〕

ひとり暮らし又は高齢者のみの世帯の介護保険非該当者等の高齢者に対し、要介護状態となることを予防するために、生活指導・日常動作訓練や趣味活動等を美里事業所において実施しました。

利用日数	延7日
利用者数	1名

3 【重点】障がい者相談支援事業（特定相談支援事業）

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、本人・家族のニーズに応じて、サービス事業所との調整やサービス等利用計画の作成、モニタリング等により、必要な支援を行いました。

契約件数	22件
計画作成件数	82件
モニタリング件数	59件

4 障がい者居宅介護等事業（3事業所）

（1）介護給付事業

居宅介護・重度訪問介護・同行援護

何らかの障がいがあっても、自宅で自立した日常生活や社会生活が送れるよう、3事業所において、生活支援・身体介護や外出支援等を行いました。

事業所別利用延回数

(単位：回)

	久居・美里	河芸・芸濃・安濃	一志・白山	合計
居宅介護	1,248	2,122	931	4,301
同行援護	184	374	41	599
合計	1,432	2,496	972	4,900

(2) 地域生活支援事業（移動支援事業）〔市受託〕

3事業所において、屋外移動が困難な重度の障がいのある方の自立生活と社会参加を促進するため、外出の支援を行いました。

事業所別利用延回数

(単位：回)

	久居・美里	河芸・芸濃・安濃	一志・白山	合計
移動支援	209	75	519	803

II 公益事業（事業区分）**【地域福祉事業】（拠点区分）****1 生活支援ハウス運営事業（2か所）（市受託）**

「美里生活支援ハウス」及び「美杉生活支援ハウス」において、市内に住所を有する高齢者に対し、住居機能や生活支援、交流の機会を提供することで、健康で明るい生活が送れるよう支援しました。

施設名	利用者数
美里生活支援ハウス	(月平均) 4.0名
美杉生活支援ハウス	(月平均) 4.4名

2 【新規・重点】生活困窮者自立相談支援事業（市受託）

複合的な課題を抱えた方の相談に応じ、各々の抱える課題を包括的に把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認し、一人ひとりの状況に合わせた支援計画を作成しました。専門の支援員が寄り添いながら、関係機関等と連携して、問題解決に向け支援を行いました。

津市における生活困窮者支援の取組み状況を報告するとともに、地域を拠点とした支援体制づくりの推進に向け、先駆的な事例から考える機会とするため、研修会を開催しました。

ア 支援件数

相談件数	プラン作成件数	支援終了件数	継続支援件数
200件	84件	143件	57件

イ 研修

研修名	開催日	研修内容等
生活困窮者の自立支援を考える研修会	2月6日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・津市の生活困窮者自立相談支援事業の取組みについて ・【講演】地域との連携・協働による生活困窮者の支援体制について 【講師】掛川市社会福祉協議会(静岡県) 地域福祉係長 児玉 恭子 氏 生活支援係長 黒田 江利子 氏 【参加者】125名

3 【新規・重点】生活困窮者家計相談支援事業(市受託)

家計に問題を抱えている生活困窮者等からの相談に応じ、必要な情報や専門的な助言・指導等を行い、少しでも早期に家計が再生されるよう支援しました。

また、自立支援機関等の関係機関と連携し、相談者の課題解決に向けて取り組みました。

ア 支援件数

申込件数	プラン作成件数	支援終了件数	継続支援件数
22件	9件	4件	18件

イ 支援回数

来所	訪問	電話	合計
32回	112回	48回	192回

4 生活困窮者支援緊急食糧提供等事業

生活困窮世帯(緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯)に、生活に必要な食糧や消耗品等を提供することで、生活再建への支援を行いました。

緊急食糧提供事業	141回
緊急時物品等支援事業	10回

【介護サービス事業】(拠点区分)

1 【重点】居宅介護支援事業(5事業所)

5事業所において、介護を必要とされる方が適切な介護サービス等を利用するため、心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿ったケアプランを作成し、サービス事業所等との連絡・調整を行い、自立した日常生活を営むことができるよう支援しました。

また、事業所の再編による適正な人員配置により、事業の効率化を図るとともに、サービスの質の向上に努めました。

(1) 居宅サービス計画作成件数

ア 事業所別利用件数 (単位：件)

	久居・美里	河芸・芸濃・安濃	一志	白山	美杉	合計
居宅サービス計画	1,730	1,519	1,014	1,300	1,577	7,140
介護予防サービス計画	692	280	357	139	241	1,709
合計	2,422	1,799	1,371	1,439	1,818	8,849
ケアマネ1人当りの担当件数	33.6	37.4	38.0	34.2	37.8	平均 36.2

イ 介護度別利用件数 (単位：件)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用件数	2,314	2,421	1,175	695	535	1,709	8,849
割合	26%	28%	13%	8%	6%	19%	100%

2 【重点】地域包括支援センター事業（2事業所）

津北部東及び津一志地域包括支援センターにおいて、高齢者の困りごとを気軽に相談できる総合相談窓口づくりに取り組み、複雑多岐にわたる相談に対応しました。

また、行政・医療・福祉の専門職等によるネットワークづくりを強化し、困難事例への対応を図るため、地域ケア会議を積極的に開催しました。

(1) 相談件数

ア 内容別相談件数 (単位：件)

	総合相談	介護相談	介護保険サービス		その他のサービス	ケアマネジメント等	虐待・権利擁護	その他	合計
			介護	予防					
津北部東	219	307	321	208	38	1	26	14	1,134
津一志	711	19	453	231	18	0	3	0	1,435
合計	930	326	774	439	56	1	29	14	2,569

イ 形態別相談件数 (単位：件)

	来所	訪問	電話	その他	合計
津北部東	148	514	471	1	1,134
津一志	218	355	862	0	1,435
合計	366	869	1,333	1	2,569

(2) 介護予防プラン作成件数 (単位：件)

	作成件数	委託件数	合計
津北部東	737	2,967	3,704
津一志	801	2,678	3,479
合計	1,538	5,645	7,183

3 要介護認定調査事業 [市受託]

(1) 介護保険要介護(要支援)認定調査

久居支部と河芸支部に拠点を置き、津市全域において要介護(要支援)認定調査業務を行いました。各種研修会へ参加し、正確性、公平性を確保するとともに、調査員の資質の向上を図りました。

	件数
津市からの委託	15,472件
他市町村及び広域連合	47件
合計	15,519件

(2) 認定調査員研修会の開催

研修名	開催日	事項等
認定調査員現任者研修会 (三重県主催)	9月10日(木)	・認定調査項目の基本と調査方法について
認定調査員現任者研修会 (三重県主催)	11月18日(水)	・介護保険法における認定調査員と介護認定審査会の役割
認定調査員研修会 (本会主催)	11月26日(木)	・要介護認定審査会について

III 収益事業(事業区分)

【収益事業】(拠点区分)

1 物品販売事業

津競走場内に売店を1店舗設置するとともに、津センターパレス、津北部市民センター、津市西部市民センター等の公共施設に自動販売機を設置し、物品販売に努めました。

事業収入は、約2,634万8千円の売上があり、社会福祉事業区分へ232万3千円の繰入を行いました。

(1) 競走場売店の円滑な運営 1店舗

(2) 公共施設自動販売機の設置 57台

<巻末資料>

P 4

1 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催

ア 理事会の開催 協議事項等

会議名	開催日	協議事項等
第1回理事会	5月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員の選任について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会参与の選任同意について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員及びパートタイム職員就業規則の一部改正について ・平成26年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業報告及び決算報告について ・平成27年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第1号)について
第2回理事会	6月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員の選任について
第3回理事会	9月18日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第2号) ・社会福祉法人津市社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決事業における第三者委員の選任について
第4回理事会	12月15日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会特定個人情報等取扱規程の制定について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会パワーハラスメントの防止に関する規程の制定について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会任期付職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会嘱託員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員及びパートタイム職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規

		<p>則の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第3号)について
第5回理事会	1月16日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人津市社会福祉協議会会長の選任について 社会福祉法人津市社会福祉協議会副会長の選任について 社会福祉法人津市社会福祉協議会顧問の選任同意について 社会福祉法人津市社会福祉協議会参与の選任同意について
第6回理事会	3月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人津市社会福祉協議会定款の一部改正について 社会福祉法人津市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 社会福祉法人津市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 社会福祉法人津市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 社会福祉法人津市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員及びパートタイム職員就業規則の一部改正について 社会福祉法人津市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部改正について 社会福祉法人津市社会福祉協議会安全衛生管理規程の一部改正について 社会福祉法人津市社会福祉協議会ストレスチェック取扱規程の制定について 津市まん中老人福祉センター管理規程の制定について 平成27年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第4号)について 平成28年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業計画の策定について 平成28年度社会福祉法人津市社会福祉協議会当初予算について

理事会出席者数

(単位:名)

	定員	出席理事	内) 書面 決議者	欠席	欠員
第1回理事会	15	15	3	0	0
第2回理事会	15	12	0	3	0
第3回理事会	15	14	2	1	0
第4回理事会	15	14	1	1	0
第5回理事会	15	13	0	2	0
第6回理事会	15	13	1	2	0

P4

イ 評議員会の開催

協議事項等

会議名	開催日	協議事項等
第1回評議員会	5月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員及びパートタイム職員就業規則の一部改正について ・平成26年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業報告及び決算報告について ・平成27年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第1号)について
第2回評議員会	9月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会監事の選任について ・平成27年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第2号)について
第3回評議員会	12月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会理事の選任について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会監事の選任について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会特定個人情報等取扱規程の制定について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会パワーハラスメントの防止に関する規程の制定について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会任期付職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会嘱託員就業規則の一

		部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員及びパートタイム職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部改正について ・平成27年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第3号)について
第4回評議員会	3月24日(木)	・社会福祉法人津市社会福祉協議会定款の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員及びパートタイム職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会安全衛生管理規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会ストレスチェック取扱規程の制定について ・津市まん中老人福祉センター管理規程の制定について ・平成27年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第4号)について ・平成28年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業計画の策定について ・平成28年度社会福祉法人津市社会福祉協議会当初予算について

評議員会出席者数

(単位：名)

	定員	出席評議員	欠席	欠員
第1回評議員会	36	23	13	0
第2回評議員会	31	27	4	0
第3回評議員会	31	22	9	0
第4回評議員会	31	24	7	0

P 1 1

3 地域福祉推進事業

(2) ふれあい・いきいきサロン事業

ア 社協職員参加回数・参加者数

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉
開催回数	83回	38回	31回	108回	63回	188回	242回	69回	83回	185回
参加者数	1,282名	955名	397名	1,247名	1,328名	1,485名	4,275名	660名	1,794名	1,348名

P 1 5

(9) 心配ごと相談事業

弁護士相談回数及び相談者数

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
回数	16回	12回	4回	2回	2回	2回	2回	3回	3回	2回	48回
相談者数	92人	67人	20人	11人	7人	9人	6人	16人	9人	5人	242人

P 1 8

4 介護予防事業

(1) 介護予防事業

ア 転倒予防教室

開催地域及び参加者数

(単位：名)

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
4月23日(木)	津	82	10月22日(木)	津	75
5月20日(水)	一志	19	11月6日(金)	芸濃	42
5月28日(木)	津	45	11月26日(木)	津	60
6月8日(月)	河芸	18	12月9日(水)	安濃	8
6月25日(木)	津	85	12月24日(木)	津	68
7月29日(水)	久居	26	1月21日(木)	美里	21
7月30日(木)	津	47	1月28日(木)	津	60
8月19日(水)	香良洲	12	2月25日(木)	津	80
8月27日(木)	津	75	2月26日(金)	白山	32
9月24日(木)	津	55	3月24日(木)	津	70
10月14日(水)	美杉	18			

P 1 8

イ 認知症予防教室

開催地域及び参加者数

(単位：名)

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
4月10日(金)	津	27	11月13日(金)	津	30
5月8日(金)	津	18	11月24日(火)	久居	15
6月12日(金)	津	24	12月9日(水)	美里	37
6月24日(水)	一志	13	12月11日(金)	津	14
7月10日(金)	津	18	1月8日(金)	津	20
7月17日(金)	白山	27	1月14日(木)	美杉	26
8月5日(水)	芸濃	58	2月12日(金)	津	24
8月7日(金)	津	18	2月29日(月)	香良洲	23
9月11日(金)	津	19	3月10日(木)	河芸	15
9月30日(水)	安濃	28	3月11日(金)	津	23
10月9日(金)	津	26			

P 1 8

ウ 家族介護教室

開催地域及び参加者数

(単位：名)

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
4月21日(火)	津	20	10月19日(月)	久居	5
5月29日(金)	白山	18	10月20日(火)	津	20
6月10日(水)	美里	27	11月18日(水)	香良洲	15
6月10日(水)	美杉	13	12月15日(火)	津	20
7月24日(金)	安濃	7	1月20日(水)	久居	9
8月4日(火)	美里	17	2月17日(水)	美杉	27
8月24日(月)	河芸	15	2月26日(金)	芸濃	56
9月25日(金)	一志	16	3月11日(金)	安濃	8

P 2 6

8 ボランティアセンター事業

(5) 福祉協力校推進事業

福祉協力校名

小 学 校			
養正小学校	一身田小学校	栗葉小学校	高宮小学校
修成小学校	白塚小学校	榊原小学校	辰水小学校
南立誠小学校	栗真小学校	立成小学校	長野小学校
北立誠小学校	片田小学校	豊津小学校	香良洲小学校
敬和小学校	大里小学校	上野小学校	一志西小学校

育生小学校 新町小学校 藤水小学校 高茶屋小学校 神戸小学校 安東小学校 楡形小学校 雲出小学校	高野尾小学校 西が丘小学校 豊が丘小学校 南が丘小学校 誠之小学校 成美小学校 桃園小学校 戸木小学校	黒田小学校 千里ヶ丘小学校 明小学校 芸濃小学校 草生小学校 村主小学校 安濃小学校 明合小学校	一志東小学校 倭小学校 川口小学校 八ッ山小学校 大三小学校 家城小学校 美杉小学校 (51校)
中 学 校		高 等 学 校	特別支援学校
東橋内中学校 西橋内中学校 橋南中学校 南郊中学校 西郊中学校 一身田中学校 一身田中学校国児分 校 南が丘中学校 セントヨゼフ女子学 園中学校	久居中学校 久居西中学校 久居東中学校 朝陽中学校 芸濃中学校 東観中学校 美里中学校 香海中学校 一志中学校 白山中学校 美杉中学校 (20校)	津商業高等学校 セントヨゼフ女子学 園高等学校 高田高等学校 久居高等学校 久居農林高等学校 (5校)	緑ヶ丘特別支援学 校中等部 緑ヶ丘特別支援学 校高等部 轟学校 稲葉特別支援学校 (4校)

P 2 6

(6) 福祉教育推進事業

ア 福祉教育推進会議参加学校名

小 学 校			
養正小学校 修成小学校 南立誠小学校 北立誠小学校 敬和小学校 育生小学校 新町小学校 藤水小学校 高茶屋小学校 安東小学校	一身田小学校 白塚小学校 栗真小学校 大里小学校 高野尾小学校 西が丘小学校 豊が丘小学校 誠之小学校 成美小学校 桃園小学校	榊原小学校 立成小学校 豊津小学校 上野小学校 黒田小学校 千里ヶ丘小学校 明小学校 芸濃小学校 長野小学校 高宮小学校	村主小学校 安濃小学校 明合小学校 香良洲小学校 一志西小学校 一志東小学校 倭小学校 川口小学校 八ッ山小学校 大三小学校

楡形小学校 雲出小学校	戸木小学校 栗葉小学校	辰水小学校 草生小学校	美杉小学校 (47校)
中 学 校		高 等 学 校	特別支援学校
東橋内中学校 西橋内中学校 橋南中学校 南郊中学校 一身田中学校 一身田中学校国児分 校 南が丘中学校 高田中学校 セントヨゼフ女子学 園中学校 久居中学校	久居西中学校 久居東中学校 朝陽中学校 芸濃中学校 美里中学校 東観中学校 香海中学校 一志中学校 白山中学校 美杉中学校 (20校)	津商業高等学校 久居高等学校 久居農林高等学校 (3校)	緑ヶ丘特別支援学 校 稲葉特別支援学校 (2校)

P 2 8

9 生活福祉資金貸付事業 (低所得者支援事業)

相談件数及び貸付件数

(単位：件)

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉
相談件数	714	86	17	13	1	7	3	12	18	2
貸付件数	96	12	4	1	1	2	0	1	5	0